



日本共産党北区議会議員

さがらとしこ

区政レポート

2013.7.25 No.1150.

ご相談はお気軽に

TEL とも 3905-0970
FAX

さがらとしこ事務所

赤羽北3-23-17

(バス停「赤羽北3丁目」・メガシティ近く)

日本共産党議員団

区役所内 3908-7144

http://www.kitanet.ne.jp/kyoukita/

◎ニュー・ヨーク・タイムズの社説のために、世界の評価や指摘にも耳を傾けたいでしょう。



猛暑は、これからもつぎます。くれぐれも熱中症にならないよう、気をつけてください。

日本共産党は、北区でも東京都比例でも 政党を選ぶ得票で第2党でした。

猛暑の中、ご支援、ご協力、ありがとうございます。

◎東京選挙区では、新人の吉良よし子さんの当確がいち早く報じられたことに、びっくりしました。さらに、比例の得票では、北区は前回比で1.47倍、得票率17.11%の第2位。東京全体でも右下の表のように、得票率13.7%で第2位となりました。とても嬉しい結果です。

◎自民・安倍政権の暴走を許すなど、共産党への支持をいただきました。

課題のひとつひとつが国民生活を左右するものです。まさに、国民運動と党の団結力が、要政を押しかえす。秋のたけなわへ。

米紙「ニューヨーク・タイムズ(電子版)」は22日付の社説で、安倍政権が安定多数を得た参院選の結果について、「今回の選挙戦は経済政策をめぐるものだった」としたうえで、「安倍首相は自身の右翼的外交見解が承認されたものと取るべきではない」とくぎを刺しました。

社説は安倍政権の経済政策を支持し、環太平洋連携協定(TPP)をてこに「改革」を推進するよう主張。一方で消費税の税率アップは「少なくとも景気

参院選結果 2013.7.24.付 米NYタイムズ紙が指摘

回復が確固としたものとなるまで「やるべきではない」として、その上で「日本の最も重要なアジアの貿易相手国」である中国に対し、「第2次世界大戦の傷に塩を掛けるのをやめるべきだ」と強調。靖国神社の参拝や軍事費増額などをあげ、「こうした政治的議論を引き起こす分野で強硬姿勢を貫くことは、経済的な進展や安倍首相の安定的な指導性発揮の見通しを損なうことになる」と指摘しました。

「首相の右翼的外交見解の承認ではない」

東京都比例代表・各党得票

番号	政党等の名称	得票総数	得票率 [%]
1	みんなの党	710,906.864	12.62
2	民主党	585,724.188	10.40
3	新党大地	40,644.453	0.72
4	社会民主党	116,139.000	2.06
5	生活の党	120,835.773	2.15
6	みどりの風	59,302.661	1.05
7	自由民主党	1,797,989.603	31.92
8	日本共産党	772,500.363	13.71
9	公明党	688,534.831	12.22
10	緑の党グリーンズジャパン	90,523.317	1.61
11	日本維新の会	635,573.493	11.28
12	幸福実現党	14,098.845	0.25
合計		5,632,773.391	-

北区の投票率は56.81% (前回62.4%)、東京全体では53.57% (区部53.20%、前回58.23%)でした。



紙 智子 党議員 北海道、東北 北関東、東 北 58現
井上さとし 党参院国対委員長 54現
小池 晃 党副委員長 52前
山下よしき 党書記局長代行 (京都を除く) 53現
仁藤まゆみ 党議員 九州、中国、四国、沖縄 49前

新しい政治をひらく

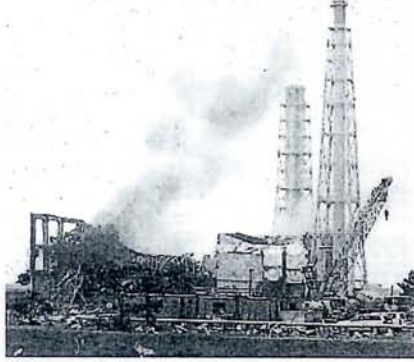
「原発推進 世界中言ってる 福島不幸でやめられない」



自民・細田代 幹事長が暴言

自民党の細田博之幹事長代行が22日夜、BSフジの番組で、「福島不幸で原発をやめるのは、耐えがたい苦痛を将来の日本国民に与える」などと発言し、東京電力福島第1原発事故を軽視して再稼働を進める考えを示しました。事故の原因究明や収束が進まないなか、自民党幹部の相次ぐ暴言に、福島の被災者から怒りの声があがっています。

細田氏は中国電力島根原発を抱える島根県選出議員で、原発再稼働を目指す自民党の「電力安定供給推進連」の会長。1000人超が参加する同連は6月、国のエネルギー政策で引き続き原発を重要電源と明確化することを求める提言をまとめています。



爆発で吹き飛んだ原子炉建屋が並ぶ事故直後の福島第1原発（2011年3月21日撮影）＝東京電力提供

「日本はいまガラパゴス化している。もちろん福島の原発事故があったんですけれど」「原子力発電を推進しようって、みんな世界中が言っているんですよ」などと繰り返して、原発廃炉を進めれば原発推進の「世界中の潮流」から取り残されることを強調しました。

さらに、「日本は事

故が起こったために残念ながら、(原発の)安全性に対して非常に大きな疑問が生じた」と前置きを繰り返して、「もろろん福島原発事故の被害や教訓を軽視する自民党議員の暴言をめぐっては、6月に高市早苗政調会長が「東京電力福島第1原発事故を含め、事故によって死者が出ている状況ではない。安全性を最大限確保しながら活用する」と発言し、批判を受けて撤回したばかりです。

私たちが「棄民」ですか

福島県農民連
根本敬事務局長

発言には言葉を失います。



自民党は、「将来」ではなく「耐え難い苦痛」に苦しんでいる人々をどう考えているのでしょうか。私たちは「棄民」ですか。福島名産のあんほ柿は今もまだ生産してよいかどうかの判断がついていません。農家は、「どこまで頑張れば明るい将来が見えるか」、日々不安を抱えています。この苦し

何も反省していない

新婦人福島県本部
村上裕実事務局長

福島では公園などの除染は



進んでいますが、安心して外遊びができる状況にはなっていません。子どもの運動能力が低下している調査結果もあり、実際に子どもにも被害が出ています。保護者からは、「子どもを太陽の光に当てていないけど、大丈夫でしょうか」「この子の将来の健康が心配」といった不安の声が寄せられています。

「まちづくり住民の会」が
桐ヶ丘遺跡(旧桐北小学校址)について
講演会を計画しています。
8月10日(土) 2時~3時 桐ヶ丘西地区
才集会室で
おはなし: 都埋蔵文化財センターの五十嵐 彰氏

都営住宅~ホィホ方式~申込み
8月1日(木)~9日(金)まで配布
受付期間は、8月1日~13日(木)まで
◎ 赤羽西5丁目と6丁目、赤羽北3丁目、桐ヶ丘など
◎ ご相談は、3905-0970 から事務所へ